

第10回沼津市議会定例会

一 般 質 問

＊ 一般質問は、「一括質問一括答弁方式」、「一問一答方式（一問一答及び複合）」により実施します。

- ・「一括質問一括答弁方式」：通告した全ての質問を１回目に行い、答弁に対する再質問として２回目及び３回目の質問を行う。
- ・「一問一答」：通告に沿って１回目から、全で一問一答により質問を行う。
- ・「複合」：１回目は一括質問一括答弁方式で行い、２回目以降から一問一答に切り替えて行う。

令和７年９月２４日、２５日、２６日

令和７年９月２４日（水）午前１０時から			
順 番	氏 名	要 旨	答 弁 を 求 め る 者
1	8 番 村 木 豊 ＊一括方式	1 沼津市子ども計画の推進について (1) 子ども基本法の理念に対する本市の認識 (2) 沼津市子ども計画策定における考え方 ① 従前の子ども・子育て支援事業計画及び子どもの貧困対策推進計画に対する評価 ② アンケートの目的及び結果に対する認識 ③ 子ども施策に関する市民への周知 ④ 義務教育を終えたこどもの居場所整備の取組 ⑤ 「こどもの意見」の表明機会とその目的 ⑥ 沼津市子ども議会の開催に対する認識 2 大規模災害発災時の本市の対応について (1) 本市の公共施設利用者の保護 ① 沼津市総合体育館 ア 防災拠点としての役割と認識 イ 避難所生活における水、食料及びトイレの確保 ② 小中学校の体育館 ア 避難所となる小中学校の体育館への空調設備導入に対する認識 (2) 小中学校の児童生徒の保護 ① 教職員の対応 ② 過去の震災を教訓とした危機管理対策の見直し内容 ③ 学校と地域の連携に対する認識 (3) 自主防災会との連携 ① 自主防災会に本市が期待する役割とその行動 ② 可搬ポンプの維持管理に対する認識 ③ 自主防災会規模による地域防災力格差に対する認識	市 長 教 育 長 関 係 部 長

順 番	氏 名	要 旨	答 弁 を 求 め る 者
2	4 番 堤 飛 鳥 *一括方式	1 災害発生時の情報伝達について (1) 情報伝達の現状 (2) 今後の情報伝達体制 (3) 同報無線の聞き取りにくさへの認識 (4) 戸別受信機の導入の検討 2 特定空家等となる前の対策について (1) 空き家予防の取組 (2) 相続・管理への支援 (3) 空き家の利活用の促進 (4) 地域との協働 (5) 今後の方針	市 長 関 係 部 長
3	6 番 大 草 満 *一括方式	1 読書文化の振興について (1) 学校図書館の活用と整備 ① 学校図書館設置の意義と役割 ② 学校図書館の活用状況とその評価 ③ 学校図書館図書標準に対する認識 ④ 図書館担当・司書教諭と学校司書の連携強化を目的とした学校司書配置 ⑤ 学校図書館における新聞配備 (2) 市立図書館の活用と整備 ① 市立図書館設置の意義と役割 ② 子どもの読書活動推進に対する取組 ③ 蔵書数の推移と今後の見込み ④ 学校図書館・地区センター図書室との連携強化 ⑤ 視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律への取組	教 育 長 関 係 部 長

令和7年9月24日（水）午後から

順 番	氏 名	要 旨	答 弁 者 求 め る 者
4	21番 深 田 昇 *一括方式	1 障がい者への歯科医療提供体制について (1) 駿東田方圏域における体制について ① 中核医療機関の状況 ② 課題認識 (2) 沼津市立病院について ① 診療状況 ② 県の補助金を活用した取組 ③ 課題認識 (3) 市民への対応について ① 周知による理解の促進 ② 意見やニーズの把握 ③ 課題認識 (4) 今後の対応 2 中学校部活動の地域展開について (1) 取組状況について ① 教育的意義の継承 ② 新たな負担 ③ 生徒の参加状況 ④ 指導者の処遇 ⑤ 個人情報の取扱い ⑥ トラブル対応と責任の所在 (2) 課題認識と今後の対応 3 選挙管理委員会について (1) 事務局の体制について ① 維持・強化に向けた取組 ② 職員を併任化する背景と狙い ③ 職員の併任化によるリスク認識とその対策 (2) 商業施設等への期日前投票所や共通投票所の設置について ① 検討の成果 ② 今後の対応	市長 教育長 病院長 選挙管理委員会 委員長 関係部長

順 番	氏 名	要 旨	答 弁 を 求 め る 者
5	23番 渡 部 一 二 実 *一括方式	1 Q o m m o n s A I（省庁・自治体向け目的特化型生成A I）導入による本市の生産性向上と執務環境改善について (1) Q o m m o n s A I に対する認識 (2) Q o m m o n s A I 導入による本市の生産性向上の可能性 (3) Q o m m o n s A I 導入による本市の執務環境改善の可能性 (4) 本市におけるQ o m m o n s A I 導入を妨げる可能性のある課題認識 2 本市におけるグリーンインフラ拡大に向けた仕組みづくりと二酸化炭素排出抑制の取組強化について (1) 第2次沼津市緑の基本計画におけるグリーンインフラ推進の位置づけと、これまでの取組実績や今後の取組計画 (2) 本市におけるグリーンインフラ拡大に向けた仕組みづくりの必要性 (3) ゼロカーボンシティNUMAZU2050実現へ向けたグリーンインフラ推進が果たす役割に関する認識と、今後の取組強化の必要性	市 長 関 係 部 長
6	26番 高 橋 達 也 *一括方式	1 本市の選挙に対する考え方 (1) 投票率の向上に向けた取組について ① これまでの投票率と投票啓発活動に関する認識と評価 ② 期日前投票所の設置方針及び成果と課題 ③ 移動投票所の導入を含む新たな施策の検討 (2) 若者に対する主権者教育について (3) 学歴の経歴詐称防止に向けた取組について ① 卒業証明書提出を義務づける制度改正を国に対し要望する考え ② 卒業証明書提出を本市独自に義務化する考え	市 長 選 挙 管 理 委 員 会 委 員 長 関 係 部 長

順 番	氏 名	要 旨	答 弁 を 求 め る 者
7	24番 加 藤 明 子 *一括方式	1 沼津駅北エリアのまちづくりについて (1) 現状の認識と課題 (2) 商業振興とにぎわい創出 (3) 旧市民体育館跡地の利活用 (4) 駅北・駅南エリアの連携 2 「アートのみち沼津」について (1) 「描く（つくる）アート」・「観る（楽しむ）アート」・「応援する（支える）アート」の仕組みづくり (2) 「アートのまち沼津」の戦略的ブランド化 3 本市の公共施設敷地内及び周辺における受動喫煙防止策について (1) 公共施設利用者の敷地外での路上喫煙の現状と取組 (2) 受動喫煙による健康被害のリスクへの認識と課題 (3) 各公共施設における敷地外での路上喫煙防止策	市 長 関 係 部 長
8	16番 小 澤 隆 *一括方式	1 第二中学校区における学校跡施設の活用について (1) 先進事例の研究 (2) 早期検討の推進 2 外国人転入者への対応について (1) ごみの出し方の周知 (2) 災害関連情報の周知 (3) その他の情報の周知 3 国際情勢を踏まえた情報セキュリティの確保について (1) 防犯カメラ及び太陽光パネルの管理ソフトウェアに関する注意喚起 (2) 本市が業務利用するT i k T o kなどのアプリケーションに対するルールづくり 4 台湾高雄市との観光交流促進協定について (1) 協定内容の実践に対する考え方 (2) 本市としての情報発信	市 長 教 育 長 関 係 部 長

令和7年9月25日（木）午前10時から

順 番	氏 名	要 旨	答 弁 を 求 め る 者
9	13番 久保田 吉光 *一括方式	1 興国寺城跡整備について (1) 整備後のランドデザイン ① 第2次沼津市緑の基本計画における位置づけ ② 史跡興国寺城跡保存活用計画との整合性 (2) 史跡興国寺城跡保存活用計画 ① 用地取得の進捗状況 ② 発掘調査と分析作業の進捗状況 ③ 計画全体における現在地と今後の方針 ④ 整備基本計画との違い (3) 整備基本計画 ① 整備基本計画の策定の状況 ② 計画の取組内容 ③ 興国寺城保存整備事業に支出する年間予算の内訳 ④ ガイダンス施設、トイレ・駐車場等の便益施設の必要性に対する認識と今後の取組 (4) 地域で立ち上がっている歴史研究会等の民間団体との連携	市長 教育長 関係部長
10	14番 佐野 博一 *一括方式	1 高齢者福祉における2025年問題への対応 (1) 介護職員の人材確保 (2) 介護サービスの質の確保と地域格差の是正 (3) 本市の認知症施策 (4) 地域包括ケアシステムの維持・強化 2 本市のフレイル対策について (1) 本市のフレイル対策の現状 (2) フレイル対策の担い手の育成と継続的な支援体制 (3) 市民への理解推進と啓発活動の取組	市長 関係部長

順 番	氏 名	要 旨	答 弁 を 求 め る 者
1 1	9 番 小 泉 宣 子 *一括方式	1 若者の結婚支援について (1) 未婚化や晩婚化の進展に対する認識 (2) 出会いの機会創出への取組 ① ふじのくに結婚応援協議会への参画による実績 ② 沼津市公認婚活サポーター「縁結び隊」と連携した取組 ア これまでの実績 イ 効果と課題に対する認識 ③ 今後の取組 (3) 結婚新生活を応援する取組 ① 沼津市結婚新生活支援補助金の周知方法と利用状況 ② 今後の取組 2 带状疱疹ワクチン予防接種について (1) 任意予防接種の一部助成 (2) 定期予防接種 ① 接種実績 ② 効果や安全性に対する市民への情報提供 3 誰もが暮らしやすい地域社会づくりの推進について (1) 合理的配慮の提供の取組 ① ヘルプマークの普及と周知に対する認識 ② 障がいのある方への手助けをする「あいサポート運動」に対する認識 ③ 「あいサポート運動」の発祥地・鳥取県との連携推進に対する考え	市 長 関 係 部 長

令和7年9月25日（木）午後から

順 番	氏 名	要 旨	答 弁 を 求 め る 者
1 2	19番 片 岡 章 一 *一括方式	1 本市の自治体D Xの推進について (1) 沼津市情報化推進・官民データ活用推進計画に係る各種施策の進捗状況 (2) 市民サービスの向上に資する取組 ① 現状に対する認識 ② 利便性の向上に向けた今後の取組 (3) 業務の効率化に資する取組 ① 現在の取組状況と課題に対する認識 ② R P Aの導入状況 ③ 業務の効率化に資する今後の取組 (4) 市民ニーズを把握した政策立案 ① んまぶらの活用状況と今後の展開 ② 市政全体に展開する考え (5) 防災分野におけるD Xの推進 ① 現状に対する認識 ② 要支援者支援への活用 ③ 消防団への活用 (6) さるなる自治体D Xの推進に対する考え 2 市民参加型健康増進の取組について (1) んまづ健康マイレージ ① 取組状況と評価 ② デジタル化の考えを踏まえた今後の展開 3 本市の公園について (1) 都市公園の整備状況について ① 現状認識と今後予定している整備の内容、取組 ② 暑さ対策 ③ 防災機能の充実 (2) 公園利用のマナー向上への取組について ① 現状認識と取組状況 ② 条例改正の必要性 ③ 今後の取組	市 長 関 係 部 長

順 番	氏 名	要 旨	答 弁 を 求 め る 者
1 3	1 番 川 口 慶 *一括方式	1 本市における道路等のインフラ整備・維持管理 (1) 道路等の維持管理について ① 道路等の維持管理に対する認識 ② 道路等の維持管理状況 ③ 今後の維持管理の取組 (2) 東駿河湾環状道路について ① 東駿河湾環状道路の本市への影響 ② 西区間の整備状況 (3) 伊豆湘南道路について ① 伊豆湘南道路の概要 ② 伊豆湘南道路の本市への影響 ③ 伊豆湘南道路建設促進期成同盟会の活動 ④ 今後の取組 2 デマンド型交通等の地域交通について (1) 本市の地域交通への現状認識 (2) これまで行われてきているデマンド型交通等の地域交通の取組に対する認識 (3) 新しい地域交通導入に対する認識	市 長 関 係 部 長
1 4	2 番 高 橋 秀 子 *一括方式	1 熱中症から命を守るための支援について (1) 生活困窮者等に対するエアコンの設置・修理費の支援 (2) 生活困窮者等に対する電気代の支援 (3) 生活保護費の夏季加算の必要性に対する認識 (4) 生活保護世帯のエアコン未設置世帯の実態把握と設置に向けた支援	市 長 関 係 部 長

順 番	氏 名	要 旨	答 弁 を 求 め る 者
15	18番 山下 富美子 *一問一答	1 沼津夜間救急医療センターにおける使途不明金及び本市の責任について (1) 使途不明金の発覚から現在までの状況 ① 使途不明金の内容 ア 損保等の金額 イ 窓口負担の金額 ウ 預り金の金額 ② 警察との対応 ア これまでのやり取り イ 沼津市からの書類提出 ウ 関係職員への事情聴取 (2) 施設設置者としての本市の監督責任 ① チェック体制の仕組み ア モニタリングや監査の定期的な実施 ② リスク管理 ア 業務仕様書のリスク分担の認識 ③ 県の立入検査等の指摘事項 ア 過去の立入検査 イ 対策協会との情報共有の在り方 ウ 反省点 (3) 指定管理者である沼津夜間救急医療対策協会の組織体制 ① 協会の構成員としての立場における市長・副市長の責任 ② 施設設置者としての監督上の責任 ③ 組織体制についての本市としての考え方 (4) 2市3町への責任 ① 施設設置者としての道義的責任と法的責任 ア 本市が委託事務の管理・執行を担う立場として イ 2市3町に対する事務受託者としての責任 ② 2市3町への費用返還 ア 損害額の試算 イ 返還の方法 (5) 今後の対応 ① 民事上の対応 ア 使途不明金の返済を求める対応と手続 ② 指定管理における運用の見直し ア 基本協定、仕様書、規約等の文書の見直し ③ 使途不明金問題解決に向けた今後の対応 ア 市の認識 イ 市民への説明 ウ 積極的な情報公開	市長 教育長 関係部長

順番	氏 名	要 旨	答 弁 を 求 め る 者
		2 門池公園及びため池周辺における利用と安全管理体制について (1) 公園及びため池周辺の維持管理 ① 点検・補修サイクルの適切性 ア 日常的対応 イ 市民からの情報提供への対応 ウ 維持管理及び安全対策 (2) ため池周辺状況と安全対策 ① 事故現場付近の状況 ア 現場の把握と課題 ② 安全対策 (3) 今後の対応 ① 安全管理体制の再構築 ② 水難事故防止に向けた取組 ア 学校教育における着衣泳等 イ 一般に向けた取組	

令和7年9月26日（金）午前10時から

順番	氏 名	要 旨	答 弁 を 求 め る 者
16	11番 平 野 謙 *一問一答	1 多文化共生の取組について (1) 外国人住民に係る本市の現状と認識 ① 外国人住民の現状 ア 本市の現状 イ 在留資格別の傾向 ② 現状に対する認識 (2) 行政サービス、就労及び教育における現状と認識 ① 外国人世帯の生活保護 ア 外国人に対する生活保護支給の根拠 イ 全体における外国人の割合 ウ 申請手続上の配慮 ② 外国人の国民健康保険 ア 外国人が国民健康保険に加入する根拠 イ 全体における外国人の割合 ウ 全体における外国人の医療費の割合 エ 外国人加入者の年齢別傾向 ③ 市内で就労する外国人の状況 ア 市内で働く外国人の数と近年の傾向 イ 外国人を雇用する事業所の数と主な業種 ウ 外国人の雇用に対する認識 ④ 外国にルーツを持つ児童生徒の状況 ア 外国にルーツを持つ児童生徒の現状 イ 日本語の支援が必要な児童生徒の現状 ウ 学校における課題の認識 (3) 本市の多文化共生施策について ① 現在の取組内容 ア 外国人に対する支援の現状 イ 外国人相談窓口の状況 ② 現状把握の必要性に対する認識 ③ 支援体制の拡充に対する認識 ④ 市民への周知に当たっての課題 ⑤ 多文化共生社会に対する本市の認識と今後の取組	市長 教育長 関係部長